

ヤグチ電子工業株式会社

宮城県石巻市

はばたく中小企業・小規模事業者300社

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ALL TOHOKUの製品作りによる インドでの視力回復プロジェクト

同社は、ソニー・ウォークマンの世界戦略工場として国内メーカー向けOEMを主たる事業としてきた。2011年の東日本大震災を機に、オープンイノベーション活用により、世界中の研究者と協力しながらスマートフォン接続型放射線線量計をはじめとした環境機器やタブレット型「弱視訓練装置オクルパッド」など医療機器の自社製品開発に着手してきた。「石巻から世界へ」を経営ビジョンとして、産学・医工連携を通じ、海外進出を進めている。

- | | | | |
|----------|---|--------|---------|
| ● 所在地 | 宮城県石巻市鹿又字嘉右衛門301 | ● 設立 | 1974年 |
| ● 電話/FAX | 022-575-2106/022-575-2071 | ● 資本金 | 1,000万円 |
| ● URL | https://www.yaguchidenshi.jp/company | ● 従業員数 | 25人 |
| ● 代表者 | 代表取締役 渡邊 俊一 | | |



需要獲得

ものづくり

オープンイノベーションを活用した新事業開発に成功

東日本大震災後、世界中の研究者と協力しながら進めたオープンイノベーションによりスマートフォン接続型放射線線量計「ポケットガイガー」をはじめとした環境機器や、タブレット型「弱視訓練装置オクルパッド」などの医療機器の自社製品開発を行ってきた。

オープンイノベーションの活性化により、地元の東北大、東北工大、宮城大学をはじめ全国の大学や地域の学校、さらには地元企業など新たなパートナーとの新規ビジネスを進めている。



ポケットガイガーの開発

インドへのタブレット型弱視訓練装置オクルタブ(海外向け)

JICAの2017年度第2回中小企業海外展開支援事業「タブレット型視機能訓練機による弱視の子どもたちの視力回復プロジェクト案件化調査」(インド)の実施期間中に現地の私立病院から直販注文があるなど、子供の多いインドでのニーズは高い。

インドの弱視患者を救済するという社会的貢献と同社ビジネスを両立させるべく、現地の実情に応じた製品開発と、現地病院、政府機関、医師会などとの連携によりインド全土での普及に向けて活動している。



タブレット型弱視訓練装置オクルタブ

産・学・医工連携による「オール東北」の製品づくり

同社では、東北企業間の協力関係を確立した製品作りに挑戦しており、大半の部品は東北地方の企業から調達し、地域経済活性化に貢献している。賛同した東北のメーカーからの製造受注も増えており、近年では仙台のJDSOUND社のポータブルDJ機器「GODJ PLUS」やフルデジタルスピーカー「OVO」の生産などが話題となっている。「東北・石巻から世界へ」を経営ビジョンに掲げ地域の雇用貢献を担っている。



東北企業間連携の姿(OVO生産開始)